NEWS RELEASE

2026 年 11 月 17 日
パーソルイノベーション株式会社
株式会社スタジオ鬼

施工管理経験者の“次の挑戦”を後押し
パーソルイノベーション、手描き水墨画アニメーションを手掛けるスタジオ鬼協力のもと
Web CM「あの頃の、その先へ。」を公開
～施工管理領域へのサービス拡充に伴い、挑戦したい想いに寄り添うブランドメッセージを発信～

「はたらいて、笑おう。」をビジョンに掲げるパーソルグループのパーソルイノベーション株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大浦 征也、以下パーソルイノベーション）は、物流・運送、建設など社会インフラを支えるフロントラインワーカー※1領域の人材課題解決に取り組んでいます。
このたび、その取り組みの一環として2026年10月より開始した施工管理職採用に特化した転職エージェントサービスの認知拡大を目的に、株式会社スタジオ鬼（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：髙嶺 博史、以下スタジオ鬼）と共同で、Web CM「あの頃の、その先へ。」を公開したことをお知らせします。
本CMは、施工管理職として経験を積みながらも新たな挑戦への一歩を踏み出せずにいる主人公が、自身の可能性と向き合いながらキャリアを切り拓いていく姿を描いています。施工管理職として培った経験や知識が、その先のキャリアにつながることを伝えるとともに、建設業界ではたらく方々のキャリア形成を後押ししたいという想いを込めて制作しました。

※1 フロントラインワーカー：物流・運送、製造、建設、小売、飲食、介護など、人々の生活や社会インフラを支える現場業務に従事する職種の総称。



■新CM公開の背景とCMにかける想い
近年、建設業界では、人材不足や就業者の高齢化が課題となっています。建設業就業者に占める55歳以上の割合が高い一方、29歳以下の若年層の割合は低い水準にあり、将来の担い手確保が重要な課題となっています。※2
こうした建設業界を取り巻く環境の中、施工管理職の採用においては、保有資格や経験した工事種別、担当案件の規模、マネジメント経験など、企業によって求める人材要件が異なります。そのため、企業と求職者双方にとって、それぞれの経験やスキルを踏まえた適切なマッチングが重要です。また、施工管理職としてはたらく方にとっても、これまで培ってきた経験やスキルをどのように次のキャリアに活かしていくかを考えることが、キャリアの可能性を広げるうえで重要となります。
『ピタテン』では、施工管理職に特化した転職支援を通じて、こうした課題の解決に取り組んでいます。

問い合わせ先 パーソルイノベーション株式会社 広報室
TEL：03-6757-4259 MAIL：pino_pr@persol.co.jp

今回のCM「あの頃の、その先へ。」は、施工管理職として経験を積み、「もっと大きな案件に挑戦したい」「今の経験を次のキャリアにつなげたい」と考えながらも一歩を踏み出せずにいる主人公が、自身の可能性と向き合い、新たなキャリアへ踏み出していく物語です。
また今回は、水墨画アニメーションを得意とするスタジオ鬼と共同制作しました。施工管理の仕事は、一つひとつの現場で向き合ってきた経験や、そこで培われた専門性が、その人の強みにつながっていく仕事です。うまくいったことだけでなく、悩んだことや苦労したことも、振り返れば次の一歩を支える大切な経験になる。そうした積み重ねを、これからのキャリアや新たな挑戦につなげるきっかけを届けたいと考えました。そのメッセージを表現する方法として選んだのが、水墨画です。一つひとつの筆跡が重なり、にじみやかすれも含めて作品を形づくる水墨画の表現に、さまざまな経験を積み重ねながら歩んできた施工管理職の方々のキャリアを重ねました。さらにアニメーションやVFX※3を組み合わせることで、これまで歩んできた時間と、その先へ続いていくキャリアを表現しています。
この世界観を形にするパートナーとして、水墨画を軸に独自の映像表現を手掛ける株式会社スタジオ鬼と、今回の制作をご一緒することとなりました。

※2 出典：総務省統計局「労働力調査」
参考：一般社団法人日本建設業連合会「建設業の現状 4.建設労働」
※3 VFX（Visual Effects）：映像に視覚効果を加える技術の総称。実写映像やアニメーションに対し、CGや合成、エフェクトなどを用いて、通常の撮影だけでは表現できない映像表現を実現する技術。

■Web CM概要
タイトル：「あの頃の、その先へ。」篇
映像尺：2分3秒
放映媒体：YouTube、Facebook、Instagram、TikTok
制作：株式会社スタジオ鬼
ストーリー：
本CMは、「あの頃の、その先へ。」をコンセプトに、施工管理職としてはたらく主人公のキャリアを描いています。
主人公は施工管理として経験を積みながらも、より大きな現場への挑戦に踏み出せずにいました。
そんな中、幼なじみが鳶職人として現場で活躍する姿や記事を目にしたことをきっかけに、自身のキャリアを見つめ直します。
そして『ピタテン』との出会いを通じて転職を決意。新たな環境で施工管理として挑戦を続ける中で、かつて思い描いていた未来へ向かって歩み出します。
施工管理職として積み重ねてきた経験や知識が、次のキャリアへの道を切り拓く力になることを表現したCMとなっています。

声優：
今柳 りさ
https://yu-rin.com/pro-woman/imayanagi-risa
鳴海 崇志
https://www.earlywing.co.jp/actordb/catee/talent_narumitakashi
笹本 菜津枝
https://www.earlywing.co.jp/actordb/catec/talent_sasamotonatsue

音楽：朝岡 さやか

放映期間：2026年11月17日(火)～
動画URL：https://www.youtube.com/shorts/0qtF369KevA

問い合わせ先 パーソルイノベーション株式会社 広報室
TEL：03-6757-4259 MAIL：pino_pr@persol.co.jp

■株式会社スタジオ鬼 代表取締役 髙嶺 博史より コメント



水墨画には「戻る」ボタンがありません。間違えたら最初からやり直し。
筆の角度や筆圧、墨の濃淡、にじみ、かすれ。仕事のひとつひとつに宿る緊張感は、施工管理の現場にも通じるものがあると思います。
和紙に描いた300点の水墨画が、ピアノの旋律に乗って踊り、声優さんの声で語り始める。
がんばったあの日、悩んだ夜、誰にも見せなかった涙。胸に刺さった厳しいひと言が、背中を押してくれる瞬間。どんな顔をした思い出でも、歩んできた経験はきっと次の一歩につながる。そんな想いを、「人の手によるもの作り」の温度で伝えたいと思いました。
伝統の水墨画に素敵な舞台をくださったパーソルイノベーションの皆さまに、心より感謝いたします。

■『ピタテン』事業責任者 星野 里季より コメント



施工管理として経験を重ねてきた方の中には、「新しい環境で挑戦したい」「これまでの経験を活かして、次のステップに進みたい」と考える一方で、これまで培ってきた強みや経験を、今後のキャリアにどう活かしていくか迷う方もいらっしゃると思います。
日々の仕事で身につけた知識やスキル、さまざまな現場での経験は、その先のキャリアや新たな可能性につながるものです。本動画が、これまでの歩みを振り返り、自身の経験や可能性を改めて捉え、これからの選択肢を考えるきっかけになればうれしく思います。
『ピタテン』も、単に転職先を紹介するだけでなく、一人ひとりの経験を活かし、納得感のある次の一歩を選べるよう、キャリアの可能性を広げる存在でありたいと考えています。

■株式会社スタジオ鬼について＜ https://studio-oni.com/ ＞

株式会社スタジオ鬼は、「人の手によるもの作り」にこだわり、伝統の水墨画を軸にアニメーションとアートを制作するクリエイティブスタジオです。
紙と墨が生むにじみやかすれ、筆の勢いをデジタル技術と組み合わせ、物語を届けています。
主な実績は、Supercell『ブロスタ（Brawl Stars）』公式アニメーション、NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」サテライト展示用水墨画アニメーション、没入型体験施設「ワンダリア横浜」の世界観構築、グラフィニカとの共同制作による水墨画・水彩画ミュージックビデオなどです。

■パーソルイノベーション株式会社について＜ https://persol-innovation.co.jp/ ＞

パーソルイノベーション株式会社は、パーソルグループの次世代の柱となる事業創造を目的に、2019年4月に事業を開始しました。世の中で見過ごされてきた“誰かが解くべき”はたらく領域の課題に向き合っています。まずは、フロントラインワーカー※1向けの転職/採用支援に取り組むべく若年層・未経験者向け転職支援サービス『ピタテン』やドライバーに特化した転職エージェントに注力します。また、約10万件※2の求人情報を人材紹介会社に開放する求人データベース事業『HITO-Linkエージェント』など業界のパラダイムシフトとなるようなサービスも展開していきます。今後も新たな価値創出を通じて、はたらくの常識をアップデートし続けてまいります。

※1 フロントラインワーカー：物流・運送、製造、建設、小売、飲食、介護など、人々の生活や社会インフラを支える現場業務に従事する職種の総称。

※2 当社調べ。2026年7月末時点の『HITO-Linkエージェント』データベース掲載求人を対象に、複数媒体の重複求人を除いて集計した求人数。

問い合わせ先 パーソルイノベーション株式会社 広報室
TEL：03-6757-4259 MAIL：pino_pr@persol.co.jp